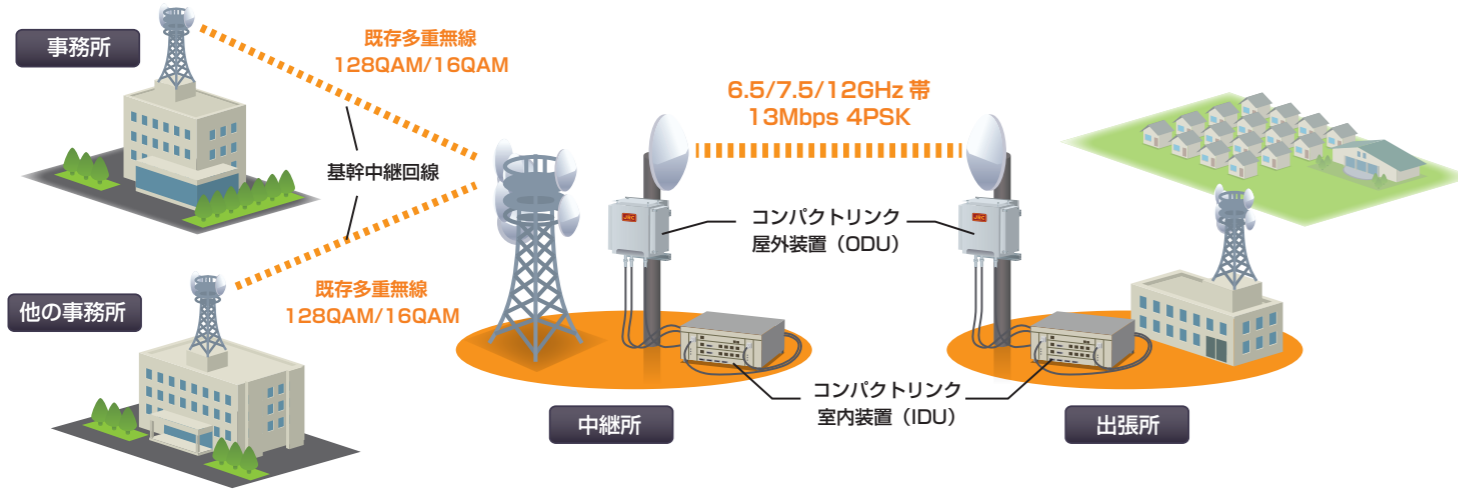


## 応用例



## 装置仕様

### 無線部

項目	JUK-0665	JUK-0675	JUK-0612
無線周波数帯	6570 ~ 6870MHz	7425 ~ 7750MHz	12.2 ~ 12.5GHz
伝送容量	6Mbps / 13Mbps	3Mbps / 6Mbps / 13Mbps	
送信出力	0.2W / 0.5W		0.1W / 0.3W
受信方式	単一受信 / SD 受信 (切替)		単一受信
打合せ回線	64kbps 1チャンネル		
変調方式	4 相位相変調 (4PSK)		
復調方式	同期検波瞬時検出		
電源	DC -24V / DC -48V / AC 100V		
消費電力	DC : 150W 以下 / AC : 250VA 以下		
環境条件	室内装置 : 周囲温度 -10℃ ~ +50℃, 相対湿度 30% ~ 90% 屋外装置 : 周囲温度 -30℃ ~ +50℃, 相対湿度 30% ~ 90%		
外形寸法	室内装置 : 436 (W) × 177 (H) × 262 (D) mm (但し、突起物を含みます) 屋外装置 : 200 (W) × 280 (H) × 223 (D) mm (但し、ヒートシンク、突起物を含みます)		

### インタフェース部

ユニット	仕様
G.703 INF	1.544Mbps × 1 / × 2 (3Mbps) 1.544Mbps × 4 / 6.312Mbps × 1 (6Mbps / 13Mbps) 10BASE-T / 100BASE-TX × 1
X.21/4W INF	X.21 (64 kbps) × 8, 4W (SS・SR) × 6, 10BASE-T / 100BASE-TX × 1

※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。

**注意** 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

## JRC 日本無線株式会社

JRCウェブサイト <http://www.jrc.co.jp/>

本社事務所 〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト  
ソリューション営業部 ☎(03)6832-1747, (03)6832-1756

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 北海道水産ビル ☎(011) 261-8325 (直通)  
東北支社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアビル ☎(022) 781-6172 (直通)  
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25 清風ビル ☎(052) 959-5902 (直通)  
関西支社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-28 ☎(06) 6344-1632 (直通)  
九州支社 〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31 博多アーバンスクエア ☎(092) 262-2131 (直通)  
三鷹製作所 〒181-8510 東京都三鷹市下連雀5-1-1 ☎(0422) 45-9111 (案内)  
稚内 釧路 函館 青森 八戸 秋田 盛岡 福島 新潟 長野 さいたま 横浜  
静岡 徳島 金沢 福井 岐阜 神戸 松江 広島 境港 山口 高松 高知  
徳島 岡山 長崎 佐賀 大分 熊本 宮崎 鹿児島 那覇 シアトル ニューヨーク  
アムステルダム アテネ ハンブルグ マニラ シンガポール 台北 ハノイ ジャカルタ

43JLS

ISO9001, ISO14001 認証取得

2015年1月作成

© 2015.1 CAT.No.R142(No.336-1-3)DG

JRC

# 6.5GHz/7.5GHz/12GHz 帯 IP 対応多重無線装置 (簡易型)

## コンパクトリンク JUK-0665/0675/0612

### 防災用無線システムなど自営通信網の アプローチ回線、中継回線に最適

- IDU/ODU 分離構成で設置が容易
- 現用 / 予備構成で障害に強い
- IP インタフェース標準実装
- 端末インタフェースに直接接続
- 多様な監視制御機能



JRC 日本無線

# 室内装置と屋外装置の分離構成により、防災無線システムなど 自営通信網のアプローチ回線、中継回線を低コストで構築可能

## コンパクトリンクとは？

JUK-0665/0675/0612 コンパクトリンクは、6.5GHz/7.5GHz/12GHz 帯 4PSK 変調方式の簡易型多重無線装置です。

本無線装置は、端末インタフェース (X.21/4W) の実装や、室内装置 (IDU) と屋外装置 (ODU) の分離構成により、設置が容易で自営通信網のアプローチ回線、中継回線を低コストで構築できます。



↑ 室内装置 (IDU)

↑ 屋外装置 (ODU)

コンパクトリンク  
取り付けイメージ



## 特長

### ■ IDU+ODU の分離構成により、設置が容易

送受信部を ODU として屋外設置することで無線室からアンテナまでの導波管敷設が不要となり、設置工事が容易です。IDU ~ ODU 間の接続は同軸ケーブルとなります (8D-FB ケーブルで 300m)。IDU は 19 インチラックに実装可能 (EIA 4U 相当)。

### ■ 二重化構成により耐障害性アップ

IDU の電源部、変復調部ならびに ODU の送受信部を二重化して現用予備方式とすることで、障害発生時は自動的に正常な系に切り替わって回線を保持します。

### ■ フレキシブルなインタフェース

G.703 インタフェース (1.5Mbps/6.3Mbps) ならびに端末インタフェース (64kbps X.21/4W) の 2 種類を組合せ自由で 2 枚まで実装可能です。いずれも IP インタフェースを標準搭載しており、システムの IP 化への移行にもスムーズに対応します。

### ■ 接点信号中継 (オプション)

監視・制御に用いる接点信号の中継が可能です (入力 24 接点 / 出力 24 接点)。端末局に被遠方監視制御装置を設置することなく、上位局 (統制局・中継局) の被遠方監視制御装置で一括収集ができます。

### ■ SNMP 対応 (オプション)

SNMPによる監視・制御に対応し (プライベートMIB)、他のネットワーク機器と合わせて統合監視制御ネットワークが構築可能です。

### ■ 専用メンテナンスソフト (オプション)

専用メンテナンスソフトをインストールした端末 (PC) を RS-232C 接続または LAN 接続することで、通常の遠隔監視制御 (障害監視・号機切替) に加え、送信出力・受信入力・電源電圧等のモニタ、障害履歴の収集が可能です。

## 系統図

